

韓国

アルミニウム合金材料工場塗装工業会 (ABA) アルミ塗装工場視察 & MOU 調印

アルミニウム合金材料工場塗装工業会 (ABA・宮越一郎会長) は、11月12日から14日までの3日間、韓国視察および韓国建築施工学会 (KIC) とのMOU (覚書) 締結を行った。

視察の目的は、アルミニウム合金材料の塗装仕上げにおける品質の確保と環境安全への配慮を目指す同会として、賛助会員のバルクケミカルズジャパンのクロムフリー系化成皮膜処理剤を採用した韓国企業の塗装工場ならびに、粉体塗装を施した建築物外装の状況確認を行うことであった。

初日12日は、アルミニウム合金メーカーである Seoul Metal 社の唐津工場における粉体塗装ラインを視察した。

続いて13日は、午前には建築用アルミニウム合金の塗装専門アプリケーターである Merco 社の華城工場を視察。午後には、ソウル特別市江南区にある KIC 事務所において、MOU の調印式が開催された。ABA 側は今回、宮越会長が不在のため、特別代理として近藤旭理事 (関東ブロック統括) と、KIC 側の Kyun

g-In Kang 会長との間で調印が行われた。このMOUはアルミニウム合金材料の工場塗装に関する情報交換を主目的として両者が協力するというもの。専門企業が設立されれば、ABA

工業会による活動が少なく韓国で、KIC が工業会活動を今後推進していくことと推測される。最終日の14日は、午前には延世大学校でのKIC 秋季大会において、特別講演を実施。近藤旭理事

による「日本のアルミニウム合金材料の工場塗装とABAの活動主旨」ならびに近藤照夫顧問から「日本におけるアルミニウム合金製建築材料に対する環境配慮形塗装の研究開発」の2つの講演が行われ、午後はアクソノール社の粉体塗料採用物件の外装状態視察が行われた。



Merco 社 華城工場入口にて
ABA の近藤照夫顧問 (前列中央) を中心に記念撮影



MOU の調印を終えた近藤旭理事 (ABA : 写真左) と
Kyung-In Kang 会長 (KIC)